

地球温暖化防止対策

間伐等森林整備の推進

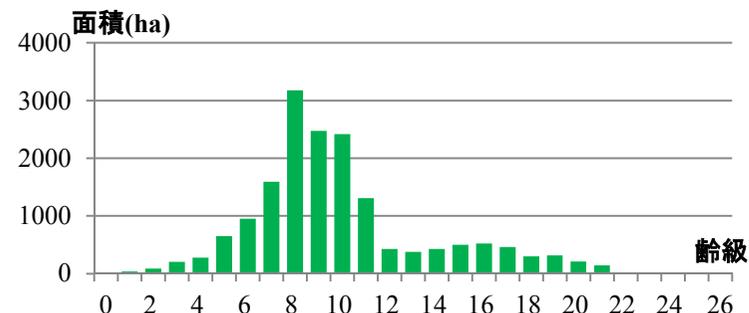
- 管内の人工林(国有林)の77%がカラマツで占められ、その内、主伐時期である60年以下の林分が約90%を占めていることから、間伐等森林整備を進めることにより、地球温暖化防止対策に寄与しています。
- 南信森林管理署では、伊那市(旧長谷村)杉島地区において、上伊那地域振興局、伊那市、長野水源林整備事務所、上伊那森林組合と「伊那市杉島地区森林整備協定」を締結し、民有林と国有林が一体となって、施業地の集約化、路網の整備、施業の連携等により森林整備を推進しています。



間伐後のカラマツ林



協働整備団地調印式



[人工林の年齢別面積]

木材の安定供給

- 間伐材の請負による事業及び立木販売により効率的に生産するとともに、一般材から低質材までを一貫して販売するシステム販売等を通じて、木材の有効活用及び安定供給に努めています。



低コスト路網の開設



プロセッサによる造材



フォワーダによる搬出



土場に集積したシステム販売材